

授業科目	ウィメンズヘルス				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	NU21604J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	杉浦 絹子、山田 恵、古賀 玉緒、前田 幸、新郷 朋香							
授業概要	<p>生物学的・社会的性差が心身の健康に大きな影響を与えることから、性差を考慮した対応が必要とされている。本講義では、女性の健康を、医学だけでなく、経済、政治、文化なども含めて包括的に捉え、生涯(思春期・成熟期・更年期・老年期)にわたる女性の健康の向上、および女性の QOL の向上をめざす看護援助方法を考察する。</p> <p>担当教員は全て助産師としての臨床経験を有し、臨床での経験を踏まえ、授業を展開する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 様々な視点からウィメンズヘルスについて理解することができる。</p> <p>2. リプロダクティブヘルス/ライツから見た女性の健康に関する課題について、自己の考えを述べることができる。</p> <p>3. ライフサイクルから見た女性の健康に関する課題について、自己の考えを述べるすることができる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	90	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			30				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			30				30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			30	10			40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
女性の健康を様々な視点から深く捉え、テーマについて自分の考えをレポートに表現できる。また、授業後も女性の健康について興味を持ち、自ら積極的に文献等を用いて考察できる。				女性の健康を様々な視点から捉え、テーマについてレポートにまとめ、自分の考えを表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	(担当 杉浦 絹子) オリエンテーション ウィメンズヘルスとは			オリエンテーション 講義		予習:		60

	<p>卵子凍結とウィメンズヘルス</p> <p>概要: 卵子凍結の医学的適応と社会的適応、それらの問題点について解説する。社会的適応で卵子凍結を希望する女性たちの背景と社会的課題について考える。</p>		<p>・ウィメンズヘルスについてどのようなものか 2 年次の教科書を復習しておく。</p> <p>・母性看護学概論やその他の文献から妊娠のしくみ、卵巣の機能について復習しておく。</p> <p>復習: 授業での学びをもとに、リプロダクティブヘルス/ライツの保障と言う視点で現代の日本社会の課題について考察する。</p>	
2	<p>(担当 山田 恵)</p> <p>テーマ: 思春期の健康とウィメンズヘルスケア</p> <p>概要: 思春期世代に多い心身の不調やその対策、必要な支援について解説する。また、「いのち(生命)の安全教育」について解説し、当事者として自身の健康を考える機会とする。</p>	講義	<p>予習: 思春期世代に多い身近な健康問題について、情報収集しておく。</p> <p>復習: 学習内容を振り返り、自身の健康を守るためにできる今後の取り組みについて考える。</p>	60
3	<p>(担当 新郷 朋香)</p> <p>テーマ: 子宮頸がんウィメンズヘルス</p> <p>概要: 子宮頸がん・ワクチン・検診の概要や現状などについて解説する。</p>	講義	<p>予習: テーマ・講義内容に関し母性看護学概論のテキストを読んでおく</p> <p>復習: 当該部分の復習</p>	60
4	<p>(担当 古賀 玉緒)</p> <p>テーマ: 女性ホルモンとウィメンズヘルス</p> <p>概要: 参加者とディスカッションを通して、ライフサイクル各期(思春期から更年期・老年期)のホルモンと心身の変化との関連、支援のポイントについて解説する。</p>	ディスカッション	<p>予習: 既習の学習をふまえ、ライフサイクル各期におけるホルモン分泌機能および心身の変化との関連について自己の知識をまとめておく。</p> <p>復習: 学習内容を振り返り、ライフサイクル各期におけるウィメンズヘルスを促進するための援助方法を考える。</p>	60
5	<p>(担当 山田 恵)</p> <p>テーマ: ジェンダーとウィメンズヘルス</p> <p>概要: ジェンダーに関する概念とわが国の現状、ジェンダーバイアスと女性の健康との関係について解説する。ドメスティックバイオレンス(DV)やデートDVについて解説する。</p>	講義	<p>予習: 自分が感じるジェンダーバイアス(社会的性差による偏見)について、考えておく。</p> <p>復習: 学習内容を振り返り、ジェンダーバイアスをなくすために今後できる取り組みについて考える。</p>	60
6	<p>(担当 前田 幸)</p> <p>テーマ: 多様な性とウィメンズヘルス</p> <p>概要: 性科学と性の多様性について基本的知識、疾患、社会の動向について解説する。また、わが国の現状や世界の現状について考える。</p>	講義	<p>予習: ニュースなどから、性科学、性の多様性などについての現状や当事者の声など情報を集めておく。それに対する自分や思いや考えをまとめる。</p> <p>復習: 授業で学んだこと、意見交換したことをもとに、看護職としての役割を考える。</p>	60
7	<p>(担当 杉浦 絹子)</p> <p>テーマ: 非配偶者間人工授精(AID)とウィメンズヘルス</p> <p>概要: 非配偶者間人工授精(AID)、精子提供により妊娠・出産する女性のリプロダクティブライツと子どもの出自を知る権利等の課題について解説する。</p> <p>まとめ</p>	講義	<p>予習: 新聞、ニュース、母性看護学や看護倫理学の教科書やその他の文献から不妊治療と倫理的課題について復習をしておく。</p>	60

			復習: 授業での学びをもとに、女性の権利と子どもの権利、および倫理的課題について考察する。	
8	<p>課題発表 (杉浦 絹子・古賀 玉緒・前田 幸・山田 恵・新郷 朋香)</p> <p>これまでの講義からウィメンズヘルスについて考える。</p> <p>意見交換</p> <p>まとめ</p>	ディスカッション・まとめ	<p>予習: 7回の講義から自分の考えを整理しておく。</p> <p>復習: ディスカッションで共有した内容について教科書やその他の資料から学びを深める。</p>	60
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	日頃から女性の健康を、医学だけでなく、経済、政治、文化などの情報に興味を持ち情報や資料を収集しておいてください。
テキスト	特に定めない
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護、渡邊浩子、板倉敦夫、松崎政代編、メヂカルフレンド社 ・女性のライフサイクルとナーシング-女性の生涯発達と看護（ウイメンズヘルスナーシング）高橋真理、村本淳子編 ヌーベルヒロカワ ・ウイメンズヘルスナーシング概論-女性の健康と看護-第2版 村本淳子、高橋真理編 ヌーベルヒロカワ ・ウイメンズヘルスケア 助産師基礎教育テキスト 第2巻 吉沢豊予子編 日本看護協会出版会 ・母性看護学概論 森恵美他 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 医学書院 <p>※必要時、資料を配付する</p>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	看護学科カリキュラムの主要な柱の一つとして位置づけられる「女性の健康促進を支援」に関連する科目です。母性看護、総合人間科目の「ジェンダー論」、看護実践の充実の「遺伝看護学」など関連づけて学び、自分自身の健康にも目を向け、考えを深めていくことを期待します。 助産(師)に関連する内容に興味がある方は積極的に受講してください。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価の詳細については、授業の初日に説明します。休まないよう注意してください。